

中野区

# 地域情報化推進計画

ユビキタス都市中野（u-city Nakano）

実現へのステップ

-city

平成 20(2008)年 3 月

策定

平成20年3月

はじめに

中野区は、昭和41年に中央電子計算組織を導入して以来、積極的に情報化施策に取り組み、昭和48年には「中野区情報処理基本計画」を策定して、漢字処理化やオンラインによる即時処理の実現、各種OA機器の導入、拡充などを進めてきました。

また、その後の情報通信技術や機器の発達に伴い、平成5年3月に行政情報化、地域情報化の双方の視点を踏まえた「中野区情報化推進計画」（平成9年3月に改定）を策定し、平成6年には「中野区テレトピア計画」を策定してテレトピア地域の指定を受け、都市型CATV区民チャンネルの開局、図書館オンラインネットワークシステムなどの整備を行い、着実に情報化を進めてきました。

ところが、最近のICT技術の急激な発展は、ブロードバンドや携帯電話の急速な普及や放送と通信の融合など情報化の分野に地球的な規模で急激な変化をもたらしています。国は、これらの環境変化に対応し、世界最先端の情報化国家となるため、「u-Japan」戦略を掲げて「いつでも、どこでも、誰でも」ICTの恩恵を実感できる「ユビキタス社会」の実現を目指しています。

中野区も、これらの動向を踏まえ、当面の3か年に焦点を絞り、平成14年3月に「電子区役所実現3か年プログラム」をとりまとめ、電子区役所の実現を推進し、文書管理、財務会計、庶務事務などの内部情報系のシステムを稼働させ、事務効率の向上と情報共有を図るとともに、「電子申請・届出サービス」を平成17年1月から開始しました。

しかし、人口減少社会の到来により中長期的な歳入の減少が見込まれる中で、IT（ICT）を活用した便利で質の高い行政サービスの提供が、今後ますます求められていくと思われます。したがって、行政は、これらの急激な環境の変化に対応しつつ、さらに事務処理の迅速化・効率化を進め、便利で質の高い行政サービスを提供するとともに、透明性の高い行政運営を行う必要があります。

そこで、中野区は、中長期的な展望に立ち、IT（ICT）の効果的な活用による地域情報化を総合的・体系的に推進していくため、「中野区地域情報化推進計画」を策定することにしました。

## 目 次

### 第1章 中野区地域情報化推進計画の基本的な考え方

1 計画の目的等	1
1-1 計画の目的	1
1-2 計画の性格・期間	2
2 本計画における地域情報化の考え方	3
3 ユビキタス都市中野が目指すまち	4

### 第2章 「ユビキタス都市中野」実現のための取組み

1 ユビキタス都市中野を実現するための情報化施策	7
2 分野別の情報化施策	8
2-1 区民生活の情報化施策	8
2-2 地域社会の情報化施策	10
2-3 行政の情報化施策	12
3 分野別の計画事業概要	14
3-1 区民生活における計画事業概要	14
3-2 地域社会における計画事業概要	18
3-3 行政における計画事業概要	20
4 個別システムの具体的スケジュール	24

# 第1章

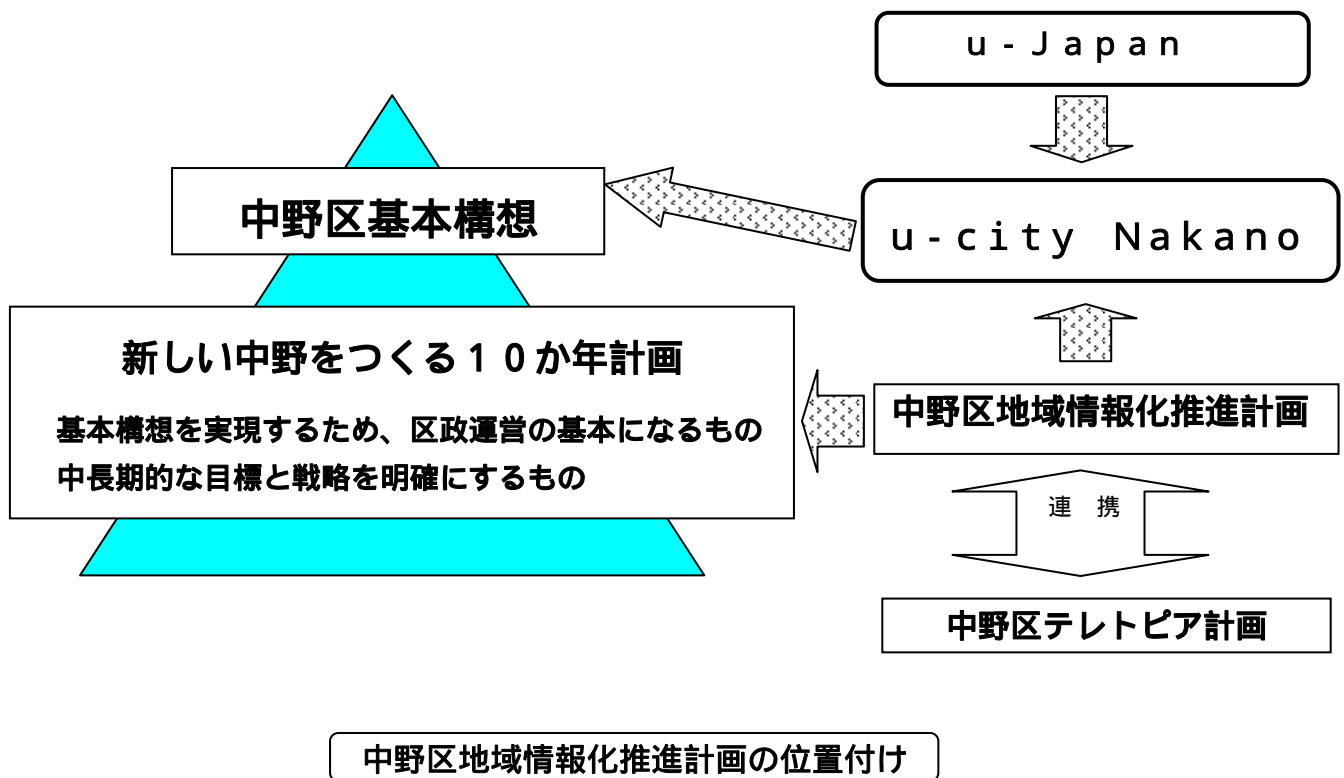
## 中野区地域情報化推進計画の 基本的な考え方

### 1 計画の目的等

#### 1 - 1 計画の目的

中野区地域情報化推進計画（以下「計画」といいます。）は、高度情報化社会が急激に進展する中で、21世紀の中野の都市像「ユビキタス都市中野（u c i t y N a k a n o）」を実現するために、区が推進する地域情報化の方向性と施策について基本的な考え方を示すものです。

また、この計画は、中野区基本構想および新しい中野をつくる10か年計画（以下「10か年計画」といいます。）の実現に向けて、区民、地域と行政の視点から取り組むべき情報化施策を明らかにするものです。



## 1 - 2 計画の性格・期間

### 【計画の性格】

この計画は、10か年計画が示す情報化の課題等を踏まえ、中野区テレトピア計画<sup>1</sup>と整合性を図りながら、今後展開すべき情報化施策（地域情報化・行政情報化施策）を体系化した地域情報化推進プログラムです。

### 【計画期間】

計画期間は、平成20年度から平成29年度までの10年間とします。また、事業の進捗状況等に応じて、おおむね3年ごとに必要な見直しを行います。

<sup>1</sup> **テレトピア計画** 総務省がCATV、インターネット等の情報通信メディアを活用して地域の情報化を促進するもので、その具体化として各地の情報化の取り組みを行う地方公共団体を「テレトピア地域」として指定をし、補助事業の優先配分等の支援をすることで高度情報通信社会の構築を推進していくものです。

## 2 本計画における地域情報化の考え方

本計画では、地域情報化は以下の3つの要素から構成されると考えており、これらの情報化を統合した上で、計画的に地域情報化を推進していくことが必要です。

### 区民生活の情報化

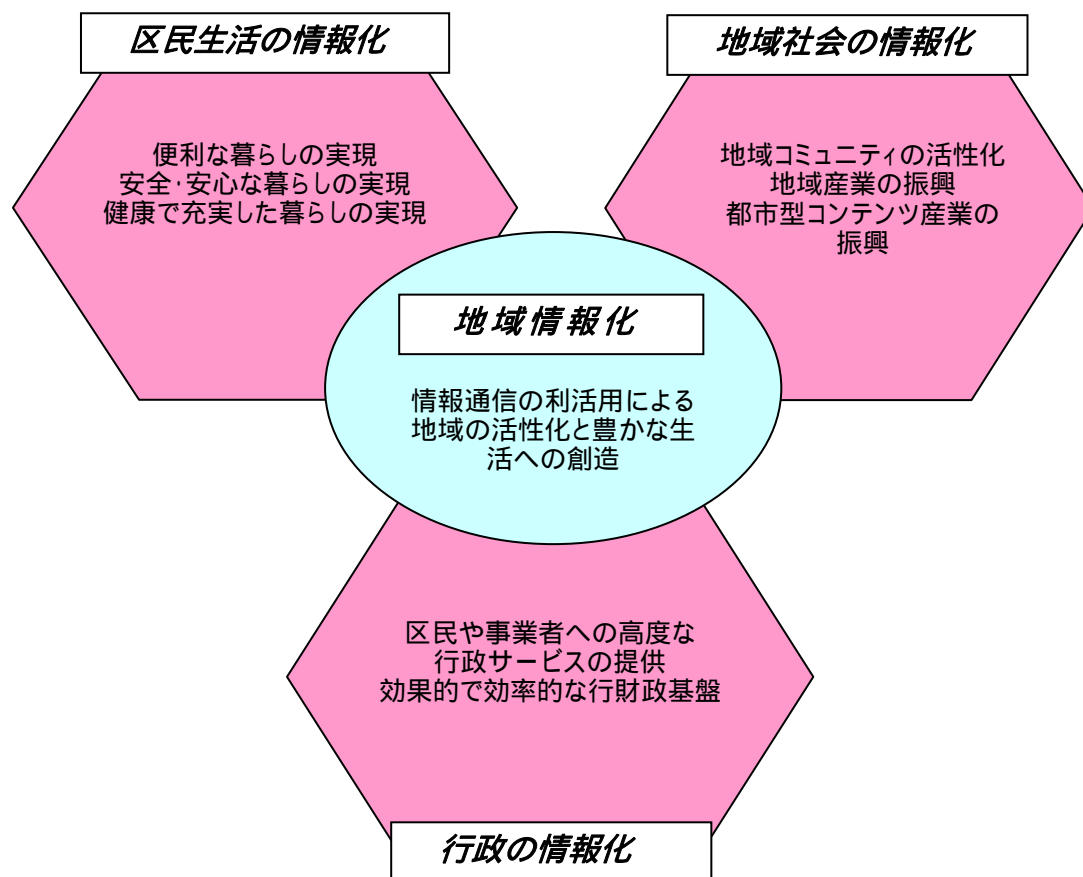
情報通信技術の利活用により、安全・安心な暮らし、健康で充実した暮らしを実現することにより、豊かな生活の創造を目指します。

### 地域社会の情報化

ICTやインターネットなどのネットワークの活用により、区民、事業者、NPO、行政等地域を構成する様々な組織や団体が交流・連携して地域コミュニティが活性化する。また、地域産業の活性化や新しいビジネスの誕生が促進されることで地域社会全体が発展していくことを目指します。

### 行政の情報化

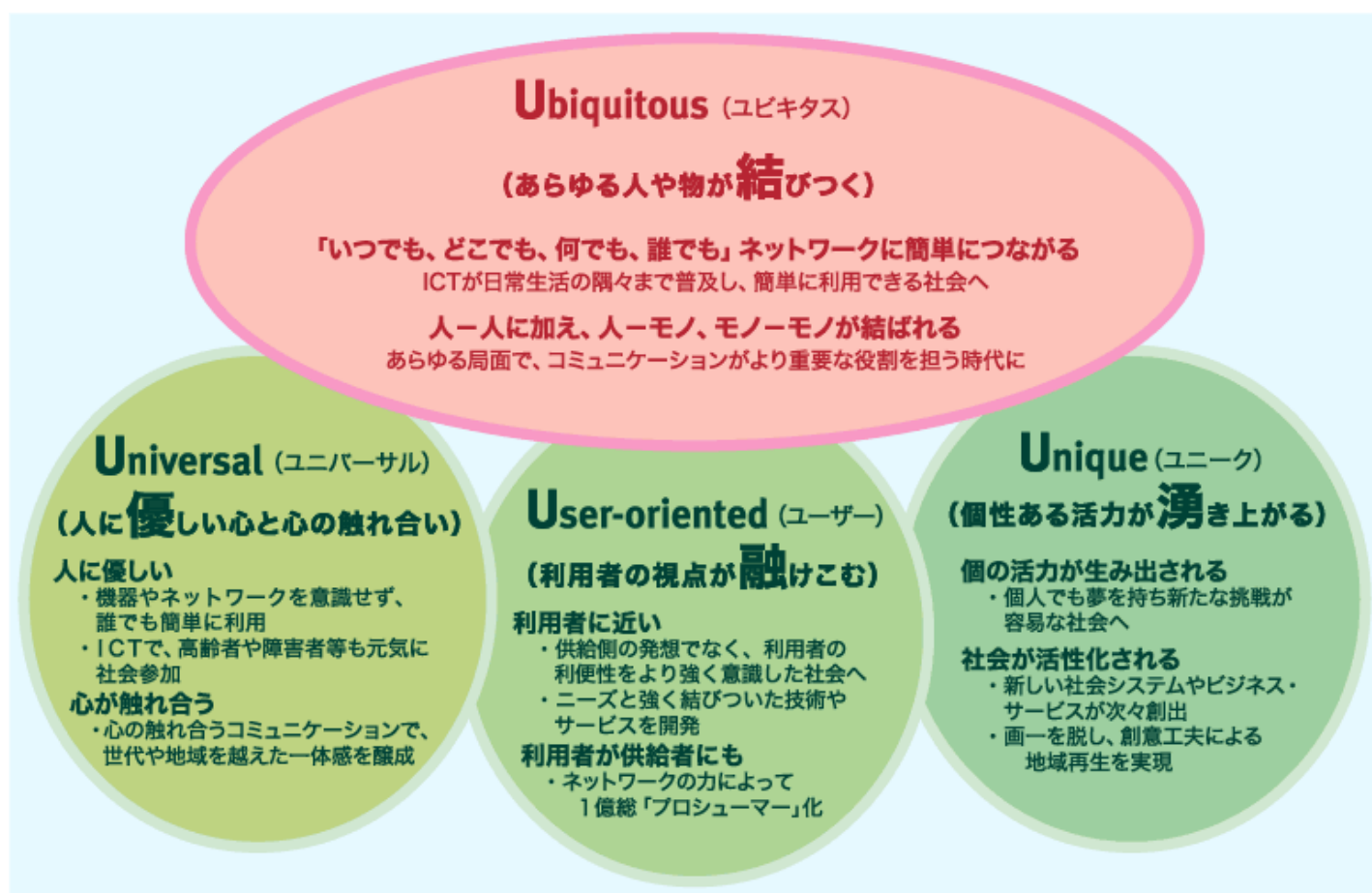
「区民生活の情報化」や「地域社会の情報化」を支える行政基盤を整備します。



### 3 ユビキタス都市中野が目指すまち

ユビキタス都市中野が目指すまちは、  
「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」  
ストレスを感じることなく、  
簡単、便利にICTと情報ネットワークを活用し、  
いつまでも元気で生き活きと、  
充実した暮らしを楽しむことができるまちです。

ユビキタスのイメージは以下の図のようになります。



出典：総務省（u-Japan（ユビキタスネット・ジャパン）の理念）

これを地域情報化の3つの分野ごとに、目指すべきまちの姿を示すと、次のようになります。

区民生活の情報化	地域社会の情報化	行政の情報化
<p>いつでも、どこでも、誰にでも便利な暮らし いつでも、どこでも、誰にでも安全・安心な暮らし いつまでも健康で生き活きと充実した暮らし</p>	<p>地域コミュニティの活性化 課題を皆で話し合い解決できるまち 様々な団体が公益活動を展開するまち 子どもの健やかな成長を地域全体で見守るまち 気軽に仲間づくり、ネットワークづくりができるまち 人々の触れ合いを大切に作る心の温かいまち 地域産業の活性化 活気溢れる元気な商店街を中心に人々が交流するまち 多様な文化が融合し活気と魅力の溢れるまち アニメ、ICT、お笑いなど都市型コンテンツ<sup>3</sup>産業が盛んなまち</p>	<p>質の高い情報サービスを提供する満足度の高い区役所 24時間365日、ワンストップ<sup>2</sup>で情報サービスを提供する便利な区役所 区民、地域団体と協働して地域課題に取り組む区役所 個人情報の保護が徹底している、情報セキュリティの高い区役所 情報システムの効率的・効果的活用と情報共有が進んでいる効率の良い区役所 IT投資をコントロールし、トータルコスト削減に努める区役所</p>

<sup>2</sup> **ワンストップ** 一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービス。特に、様々な行政手続きをいっぺんに行なえる「ワンストップ行政サービス」のことを指す場合が多い。

<sup>3</sup> **コンテンツ**(contents) あるものの「内容」(情報そのもの)のこと。特に、メディアによって提供される、ニュースなどの情報や音楽・映画・漫画・アニメ・ゲームなど各種の創作物を指す。書籍、ウェブページにおいても同様である。



# 第2章

## 「ユビキタス都市中野」 実現のための取組み

### 1 ユビキタス都市中野を実現するための情報化施策

この計画で目指す情報化の最大の目的は、区民の利便性の向上です。「だれでも、いつでも、どこでも」インターネットなどのネットワーク等を通じて必要な情報を入手し、活用することができる環境の整備が重要です。

今後、中野区が、ユビキタス都市中野実現への情報化戦略に基づき、地域情報化を計画的・総合的に推進していくために、区が計画している事業及び計画化していくべき事業を次に示します。

また、ユビキタス都市中野を実現していくためには、民間事業者が提供する情報サービスの活用や民間事業者との連携などを一層推進していく必要があると考えています。これらの情報化施策については、今後、サービスの提供のあり方を区と民間事業者の役割を踏まえて検討し、本計画の見直しの際に明らかにしていくことにします。

なお、ここに示される個別システムの導入のスケジュール等は、企画構想以降の各段階において政策的な優先順位及び財政状況等を勘案し、順次決定していきます。

## 2 分野別の情報化施策

### 2 - 1 区民生活の情報化施策

#### 区民生活の 情報化

いつでも、どこでも、誰にでも便利な暮らし  
いつでも、どこでも、誰にでも安全・安心な暮らし  
いつまでも健康で生き生きと充実した暮らし

#### 情報化が進んだ区民生活の姿

いつでも、どこでも、誰にでも便利な暮らし

ICTを利活用することで、障害者や高齢者はもちろんのこと、誰にとっても便利な社会「あらゆる人や物が**結**びつく（Ubiquitousな）社会」を実現することができます。

例えば、外出する前に、利用できる交通機関や施設の情報を調べて計画を立てることで、安心して外出ができたり、デジタルデータ放送を活用して、パソコンや携帯電話を持っていない人も、自宅のデジタルテレビ等から簡単なりモコン操作で必要な情報を取り出したり、アンケートに回答したりすることができます。

いつでも、どこでも、誰にでも安全・安心な暮らし

ICTを利活用することにより、区民は、テレビや携帯電話、インターネットから災害情報をリアルタイムで知ることができ、素早く的確な行動をとることができます。

また、災害情報を一元管理することにより、迅速に災害弱者の救助や被害の拡大防止の措置をとることができ、区民の貴重な生命・財産を保護することができます。

さらに、ICTを利活用することで、「人に**優**しい心と心の触れ合い（Universal）」が生まれ、子どもが地域の中で安全に生活でき、保護者も安心して子どもを学校に通わせることができます。

いつまでも健康で生き生きと充実した暮らし

ICTを利活用することにより、区民は、自分の健康管理の充実に役立てることが出来ます。

また、地域活動やボランティア活動が促進されることで、高齢者や障害がある方も全ての方が、地域で安心して、生きがいをもって充実した暮らし「個性ある活力が湧き上がる（Uniqueな）暮らし」を送ることが出来ます。

### 区民生活の情報化を実現するための施策

の「いつでも、どこでも、誰にでも便利な暮らし」を実現するために、区では、現在、利用者の利便性を高めるために「図書館システムの拡充」「ホームページの情報提供の拡充」「電子申請が可能な手続の拡充」「施設予約システム」「マルチペイメントネットワーク」「窓口サービスの利便性向上」を計画しています。

また、今後、誰もが安心して便利に区内を移動できるようにするため、「オンデマンド交通システム」の構築・運用、「デジタルデータ放送の活用」、統合型GISによる「バリアフリーマップ」の構築・運用などを計画化し、10か年計画の「健康・生きがい戦略」に基づく「展開4 活動的な85歳をめざす」を支援していきます。

さらに、地域での子育てを支援していくための「子育て相談支援システム」などを計画化し、10か年計画の「元気いっぱい子育て戦略」の各展開を支援していきます。

また、地域通貨やポイントカード、施設予約等に利用する「ICカード活用システム」の研究・検討を行い、ICカードやICチップを内蔵した携帯電話の活用によるワンストップサービスの実現と地域活動、地域振興につなげていきます。

の「いつでも、どこでも、誰にでも安全・安心な暮らし」を実現するために、区では、現在、「防災行政無線のデジタル化」「デジタル地図情報の提供」「校内LANの整備」を計画し、10か年計画の「健康・生きがい戦略」に基づく「展開2 支えあう人の力まちの力」を支援していきます。

の「いつまでも健康で生き生きと充実した暮らし」を実現するために、区では、現在、「健康自己管理システム」の構築・運用、「デジタルデバイスへの対応」を積極的に進め、10か年計画の「健康・生きがい戦略」に基づく「展開1 健康で実りある生活を守る」を支援していきます。

施策の計画事業概要は、14ページ以降をご覧ください。

## 2 - 2 地域社会の情報化施策

### 地域社会の 情報化

地域コミュニティの活性化

課題を皆で話し合い解決できるまち

様々な団体が公益活動を展開するまち

子どもの健やかな成長を地域全体で見守るまち

気軽に仲間づくり、ネットワークづくりができるまち

人々の触れ合いを大切にする心の温かいまち

地域産業の活性化

活気溢れる元気な商店街を中心に人々が交流するまち

多様な文化が融合し活気と魅力の溢れるまち

アニメ、ICT、お笑いなど都市型コンテンツ産業が盛んなまち

### 情報化が進んだ地域社会の姿

#### 地域コミュニティの活性化

ICTを利活用することで、希薄になった「人に**優**しい心と心の触れ合い

(Universal)」や、地域の中でのコミュニケーションが活性化します。活性化することにより地域で活動する団体や個人が地域での仲間づくりやネットワークづくりや公益活動が促進され、地域コミュニティが「様々な団体が公益活動を展開するまち」「気軽に仲間づくり、ネットワークづくりができるまち」「人々の触れ合いを大切にする心の温かいまち」が実現します。

また、地域コミュニケーションの活性化は、地域での子育ての仲間づくりや地域活動、家庭と地域、学校との連携強化にも役立つことから、「子どもの健やかな成長を地域全体で見守るまち」が実現します。

さらに、このような活動を通じて、地域の課題を自ら発見し、解決策を話し合い行動する「課題を皆で話し合い解決できるまち」を実現します。

### 地域産業の活性化

ICTを利活用することにより、映像・動画コンテンツの充実、中野のまちの文化の一つとなっているお笑い、漫画などサブカルチャーを情報発信することができ、商工業を中心とする産業が活性化し、「活気溢れる元気な商店街を中心に人々が交流するまち」「多様な文化が融合し活気と魅力の溢れるまち」が実現します。

また、「アニメ、ICT、お笑いなど都市型コンテンツ産業が盛んなまち」「個性ある活力が湧き上がる（Uniqueな）まち」を実現します。

## 地域社会の情報化を実現するための施策

の「地域コミュニティの活性化」を実現するために、区では、現在、「デジタル地図情報の提供」等によるボランティア・NPO等の情報の提供を計画しています。

また、今後、新しい区民参加の仕組みを作るための「電子アンケートシステム」「eモニター制度」、地域の情報基盤の整備のための「地域SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）<sup>4</sup>」の構築・運用などを計画化し、10か年計画の「地球温暖化防止戦略」に基づく「展開1 省エネルギーの推進と自然エネルギーの活用」「展開2 ごみの発生抑制と資源化の推進」を支援していきます。

の「地域産業の活性化」を実現するために、区では、現在、「商圈分析システムの充実」「デジタル地図情報の提供」を計画しています。

また、今後、中古ビル等への光ファイバー敷設を支援し、ITコンテンツ産業の立地を促す「まちの光化事業」、JCN中野のテレビ局としての番組制作機能を活用した「映像・動画コンテンツ制作事業」などを計画化し、10か年計画の「まちの活性化戦略」に基づく「展開2 産業新生のしかけづくり」「展開3 活力と地域の交流がある商店街」「展開4 文化芸術活動の光るまち」を支援していきます。

施策の計画事業概要は、18ページ以降をご覧ください。

<sup>4</sup> **地域SNS** パソコンや携帯電話を利用して、日常的にサイト内の日記や電子掲示板を利用したり、行政情報、地域情報などを入手したりすることができる地域向けの交流・情報提供サービス。地域SNSは、地域に住む・働く・関心のある人々のためのコミュニケーションや情報共有を行うための便利な機能を持っている。

## 2 - 3 行政の情報化施策

### 行政の 情報化

質の高い情報サービスを提供する満足度の高い区役所  
24時間365日、ワンストップで情報サービスを提供する  
便利な区役所  
区民、地域団体と協働して地域課題に取り組む区役所  
個人情報の保護が徹底された情報セキュリティの高い区役所  
情報システムの効率的・効果的活用と情報共有が進んでいる  
効率の良い区役所  
IT投資をコントロールし、トータルコスト削減に努める区役  
所

### 情報化が進んだ行政の姿

質の高い情報サービスを提供する満足度の高い区役所

ICTを利活用することにより、区役所や施設の窓口に行かなくても24時間365日ワンストップで必要な手続きができます。

また、多様化・高度化する区民のニーズに迅速・的確に把握し、ICTを活用した区民サービスや政策形成に反映させることにより、「区民、地域団体と協働して地域課題に取り組む区役所」「利用者の視点が**融**けこむ( User-oriented な )区役所」を実現します。

個人情報の保護が徹底された情報セキュリティの高い区役所

情報セキュリティポリシーを策定するとともに、情報セキュリティ外部監査と内部監査の実施による検証・改善、情報セキュリティ研修による情報セキュリティ意識の向上、緊急時対応訓練による緊急時の対応能力の向上など総合的な情報安全対策を実施することにより、「個人情報の保護が徹底された情報セキュリティの高い区役所」が実現します。

情報システムの高度活用と情報共有が進んでいる効率の良い区役所

庁内情報基盤により情報共有を進め、組織としての経験知を向上させていくことで、「あらゆる人や物が**結**びつき（Ubiquitous）」効率的に仕事を進めることのできる「情報システムの高度活用と情報共有が進んでいる効率の良い区役所」を実現します。

#### IT投資をコントロールし、トータルコストの削減に努める区役所

情報システムの開発・導入やリプレースに当たっては、業務・システムの最適化と庁内の情報システム全体の最適化の観点から見直しを行うとともに、システムのライフサイクル管理の考え方に基づくITマネジメントを行うことにより、「IT投資を適切にコントロールし、トータルコストの削減に努める区役所」の実現を目指します。

### 行政の情報化を実現するための施策

の「質の高い情報サービスを提供する満足度の高い区役所」を実現するために、区では、現在、「デジタルデータ放送の活用」「映像情報提供の拡充（CATV等）」を計画しています。また、「住民税電子申告システム」「電子投票システム」の構築・運用などを計画化していきます。

の「個人情報の保護が徹底された情報セキュリティの高い区役所」を実現するために、区では、現在、「eラーニングシステムの導入」を計画しています。

の「情報システムの高度活用と情報共有が進んでいる効率の良い区役所」を実現するために、区では、現在、「統合型GISの構築・運用」「新公会計システム」の構築・運用、「レセプト<sup>5</sup>オンライン化」への対応・運用、「図書館システムの拡充」を計画しています。

の「IT投資をコントロールし、トータルコストの削減に努める区役所」を実現するために、区では、現在、「住民情報系システム全体最適化計画の策定と中央電算再構築」「情報システム調達ガイドラインの策定・運用」を計画しています。

また、今後、ASP<sup>6</sup>が提供する情報サービスなど、多様な情報サービスの提供について検討していきます。

施策の計画事業概要は、20ページ以降をご覧ください。

<sup>5</sup> レセプト 「患者」が受けた診療について、「医療機関」が健保組合などの「公的医療保険の運営者」に請求する医療費の明細書のこと、診療や処方した薬の費用が記載されている。

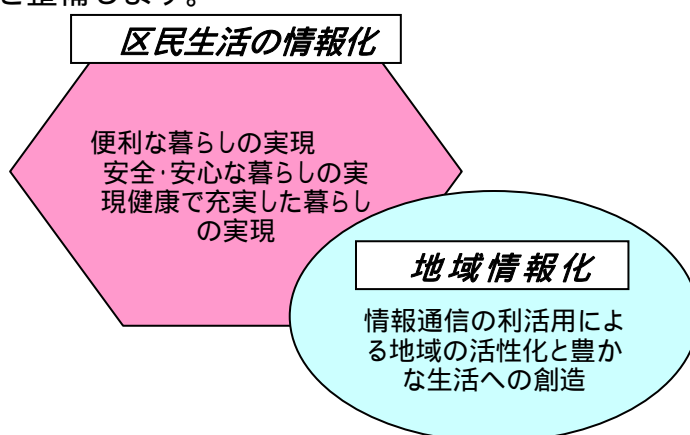
<sup>6</sup> ASP(Application Service Provider) ネットワーク経由でアプリケーションパッケージ機能だけを販売する事業者。

# 3 分野別の計画事業概要

～ユビキタス都市中野 実現への取組み～

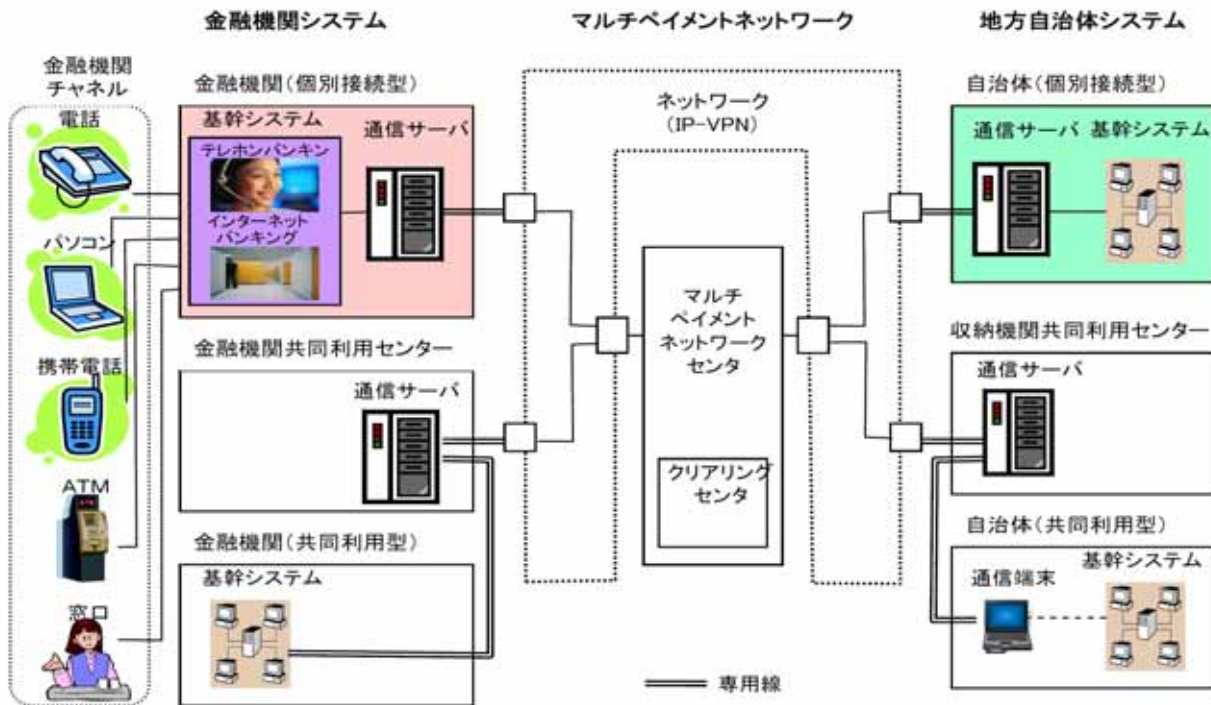
## 3-1 区民生活における計画事業概要（ 結・優・湧 ）

区民生活の情報化は、区民一人ひとりが安心して生き生きと暮らしていくため、ICTを活用することにより、生活に必要な様々な手続を簡単・便利に行うことにより、時間の余裕を生み出すとともに、家族の安全を守っていくための情報や連絡のためのネットワークを整備します。



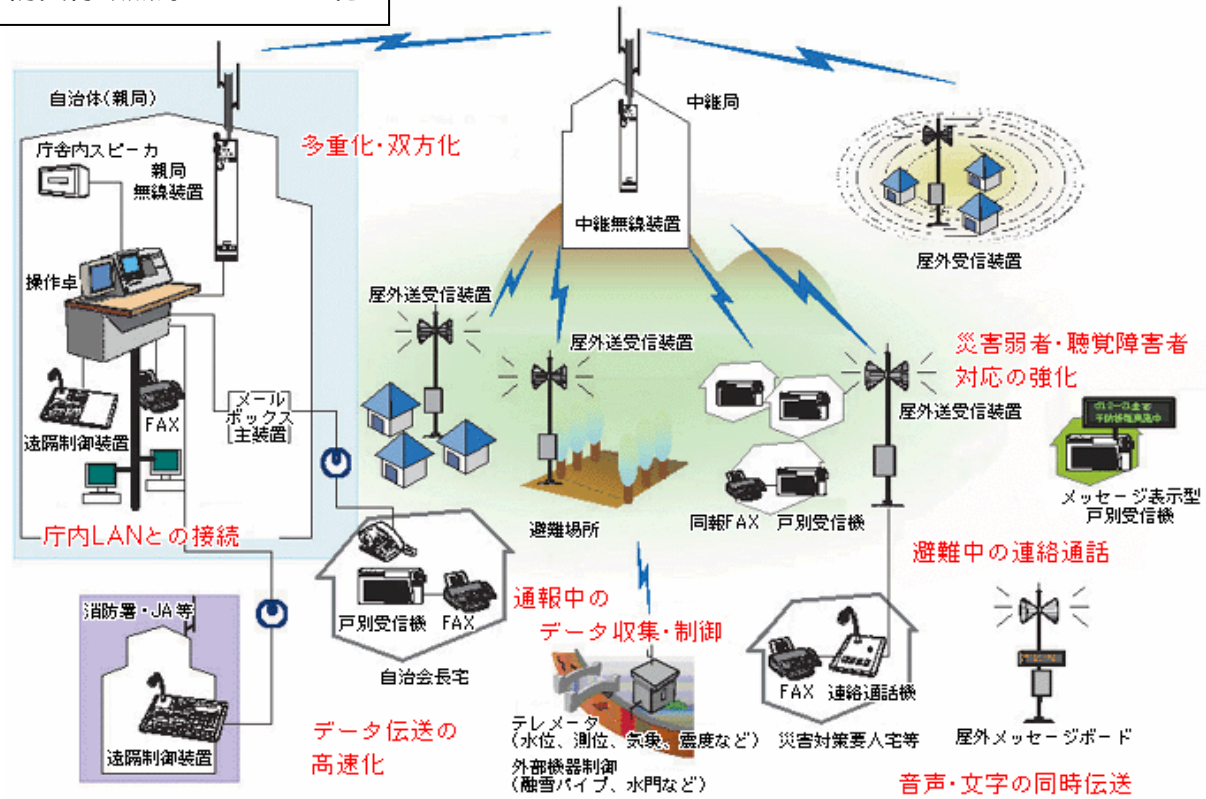
情報システム名・事業名	概要
図書館システムの拡充 【教育委員会事務局生涯学習分野】	図書館の所蔵資料にICタグを装着し、自動貸出機を設置することにより、利用者本人のプライバシー保護とカウンター業務量の削減を図るとともに、蔵書点検のための休館日の短縮を図ります。
ホームページの情報提供の拡充 (10か年計画) 【経営室報道・秘書分野ほか】	区民に分かりやすい情報の提供と拡充を進めるとともに、携帯電話の普及に対応し、携帯電話向けのサービスを充実していきます。
電子申請が可能な手続の拡充 (10か年計画) 【政策室情報化推進分野】	区は、平成17年1月から電子申請を導入しています。申請・届出業務を処理する既存業務システムについては、費用対効果を勘案しながら、システム構築時や更新・改修時に電子申請システムとの連携を図っていきます。
施設予約システム 【政策室情報化推進分野】	共通認証基盤を活用し、1枚のICカードやICチップを内蔵した携帯電話で複数のサービスが受けられる施設予約システムを構築します。

# マルチペイメントネットワーク



情報システム名・事業名	概要
マルチペイメントネットワーク (10か年計画) 【会計室ほか】	収納機関（区役所）と金融機関等をつなぐマルチペイメントネットワークを利用して、区民等は、パソコン、携帯電話、ATM等から24時間365日いつでも税金や保険料、手数料等を納付できるようになります。
窓口サービスの利便性向上 (10か年計画) 【区民生活部】	区役所及び公公共施設等に自動交付機を設置し、夜間・休日も含め、住民票の写し、印鑑登録証明書などを交付できるようにします。また、住基カードを活用して行政系カードの統合を進め、区民の利便性と行政効率の向上を図るほか、総合案内機能の充実をはじめとする窓口サービスの向上を図ります。
オンデマンド交通システム (10か年計画) 【都市整備部土木・交通分野】	交通不便者が安心して移動できるまちづくりをめざして、そのしくみづくりと運営をサポートするオンデマンド交通システムを構築します。
デジタルデータ放送の活用 【政策室情報化推進分野】	CATV等によるデジタルデータ放送を活用し、区内のイベントの情報や観光情報、グルメ情報などを広域的に発信するとともに、地震災害や水害などの際の災害情報の提供を行います。
バリアフリーマップ 【保健福祉部経営分野ほか】	統合型GIS（公開型）を活用し、車椅子の方やベビーカーの方が、まちの中を支障なく行動できるよう、地域の詳細な情報を取り入れたバリアフリーマップを作ります。

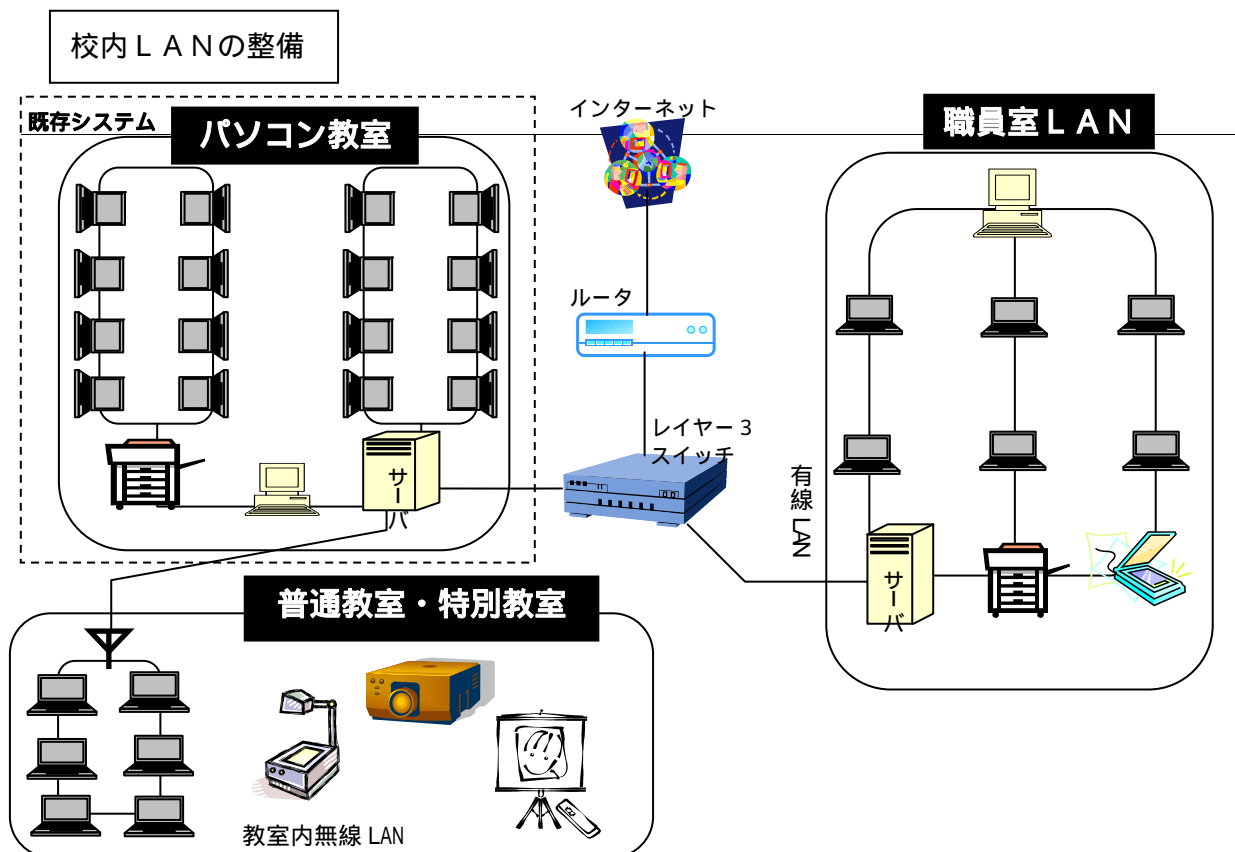
## 防災行政無線のデジタル化



デジタル化の概要

出典：総務省消防庁

情報システム名・事業名	概要
子育て相談支援システム 【子ども家庭部経営分野ほか】	(仮称)地域子ども家庭支援センターでの子育て支援業務(子どもや家庭への相談支援、子育てサービスのコーディネートなど)において、区民への適切、公平、効率的な業務運営を実現するため、子育て相談支援システムを構築します。
ICカード活用システム 【政策室情報化推進分野：区民生活部戸籍住民分野ほか】 が主管分野	区が発行するカードは、セキュリティの高いICカードとし、1枚のICカードやICチップを内蔵した携帯電話で複数のサービス(図書館システム、施設予約システム、地域通貨、商店街ポイントカード等)が受けられるように共通認証基盤を構築します。
防災行政無線のデジタル化 (10か年計画) 【経営室防災分野】	区が災害情報の収集を行うほか、地域住民に対し災害情報の伝達、広報、指示を行うことを目的とした無線通信網です。文字情報による伝達、画像による情報収集等が可能なデジタル化を進めます。

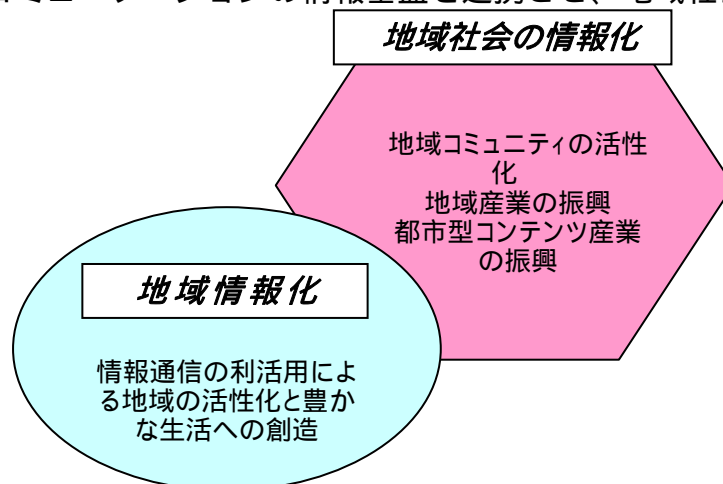


情報システム名・事業名	概要
デジタル地図情報の提供（公開型） （10か年計画） 【政策室情報化推進分野：都市整備部：保健福祉部ほか】が主管分野	統合型GISを使ってさまざまなデジタル地図を提供することにより、区民は、ホームページ等から身近な生活関連情報を入手したり、デジタル地図を利用したりすることができます。この統合型GISは、登録した区民、地域団体、NPO等が地図情報を作成、更新することができる機能を持った住民参加型のシステムとしていきます。
校内LANの整備 【教育委員会事務局教育経営分野】	区立学校の教育内容を一層充実させるため、教室、職員室においてパソコン等電子機器を活用できる環境の整備を進め、児童・生徒用のパソコンを配置するとともに、教員1人1台のパソコンを配置し、ICT活用による教育効果の向上をめざす。
健康自己管理システム （10か年計画） 【保健福祉部健康・高齢分野】	区民健診の結果や健康増進への取り組みなど、健康情報をICカードに記録することにより、自分自身の健康情報を把握するとともに、データの共有により保健・福祉・医療が連携した支援の体制を整備します。
デジタルデバインドへの対応 【政策室情報化推進分野】	デジタルデバインド解消を目的に、特に中・高年者を対象にした初心者パソコン教室開催や、（仮称）情報化推進サポーターを育成し、地域での活躍を支援する。

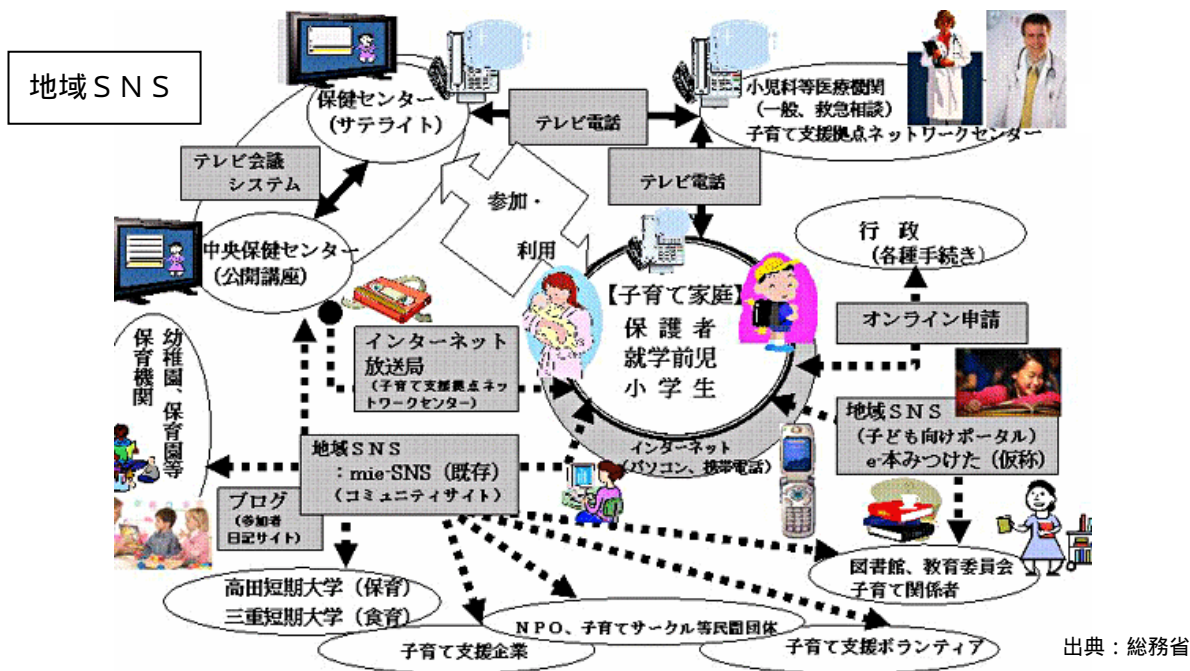
（10か年計画）とは、「新しい中野をつくる10か年計画」です。

### 3 - 2 地域社会における計画事業概要 ( 優・湧 )

活力ある社会を形成し、豊かな区民生活を実現し、まちの活性化を図るためには、高齢者・障害者等を含めたすべての区民の社会参加は重要な意義があります。区ホームページ、地域コミュニケーションの情報基盤を連携させ、地域社会への区民参加を促進します。



情報システム名・事業名	概 要
デジタル地図情報の提供（公開型） （再掲） （10か年計画） 【政策室情報化推進分野：都市整備部：保健福祉部ほか】が主管分野	統合型GISを使ってさまざまなデジタル地図を提供することにより、区民は、ホームページ等から身近な生活関連情報を入手したり、デジタル地図を利用したりすることができます。この統合型GISは、登録した区民、地域団体、NPO等が地図情報を作成、更新することができる機能を持った住民参加型のシステムとしていきます。
電子アンケートシステム 【政策室区民自治推進分野】	電子アンケートは、パソコンや携帯電話からアンケートに回答する方式です。これにより区民のニーズ等を迅速・的確に把握し、スピーディに施策に反映させていきます。なお、公的個人認証サービスで本人確認を行うことにより、同一人物による二重回答や送信途上の改ざんを防止します。
eモニター制度 【政策室区民自治推進分野】	eモニターとは、インターネット及び電子メール（携帯電話を含む）を使い、登録していただいた会員の方に中野区の情報を配信し、アンケートに答えていただくものです。電子アンケートとともに、迅速・的確なニーズ等の把握と住民参加による施策展開に役立ちます。



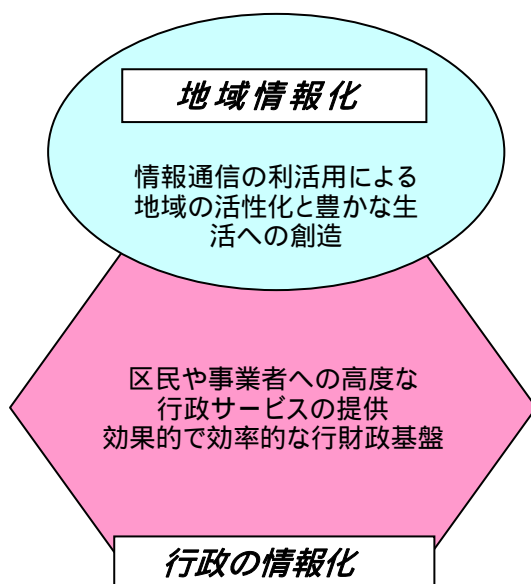
出典：総務省

情報システム名・事業名	概要
地域SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス） <b>【政策室情報化推進分野、区民自治推進分野：区民生活部地域活動分野ほか】</b> が主管分野	区民生活の利便性を向上させ、まちの活性化を図るためには、区民と区民、区民と区で地域情報を共有し、地域の問題について議論ができることが必要です。地域のコミュニケーションを活発にするための情報基盤として地域SNSを整備していきます。
商圏分析システムの充実 <b>【区民生活部産業振興分野】</b>	産業支援情報のデータベースや商圏分析システムを充実するとともに、メールマガジンを発行して、有用な情報を提供できるようにします。
まちの光化事業 <b>【区民生活部産業振興分野】</b>	エレベータシャフトを利用して中古のビル等に低コストで光ファイバーを敷設する技術が開発されています。この技術による「中古ビル等の光化」を支援することにより、ITコンテンツ産業の集積促進と利便性向上を図ります。
映像・動画コンテンツ制作事業 <b>【政策室情報化推進分野：経営室報道・秘書分野】</b>	テレビ放送の特性とデジタル化を踏まえ、CATVのテレビ局としての番組制作機能を活かして区内の団体等と協力し、区民の視点から番組制作づくりを進めるとともに、制作した番組をホームページにより動画配信します。 また、昭和初期からの貴重な写真や区政情報写真をデジタル化し、ホームページ上で「写真館」として掲載します。また動画についても、以前に作成した区政記録映像を、デジタル化し保存に努めるとともに、動画配信を行い産業活性化や観光振興を図ります。

（10か年計画）とは、「新しい中野をつくる10か年計画」です。

### 3 - 3 行政における計画事業概要 ( 結・融 )

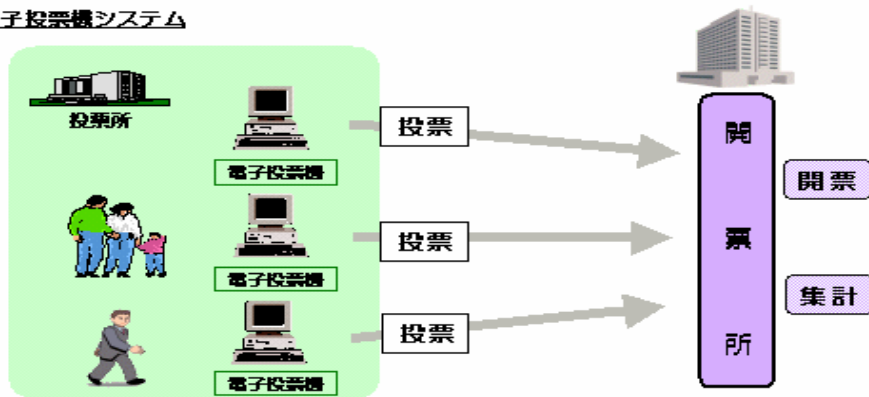
区民サービスの一層の向上のために、電子化による情報管理を計画的に移行し、効率的、効果的な事務処理を実現するシステムとして整備するとともに、区民への情報公開が一層円滑に実施できる環境の整備を進めます。



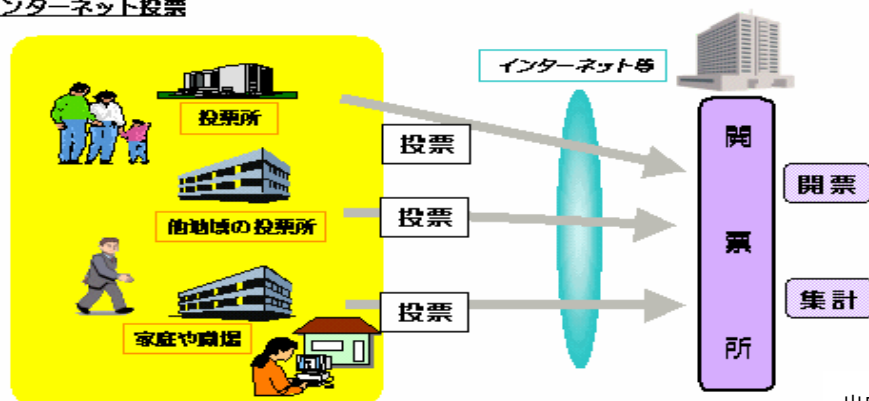
情報システム名・事業名	概要
デジタルデータ放送の活用(再掲) 【政策室情報化推進分野】	CATV等によるデジタルデータ放送を活用し、区内のイベントの情報や観光情報、グルメ情報などを広域的に発信するとともに、地震災害や水害などの際の災害情報の提供を行います。また、デジタルテレビを使えば、パソコン等を持っていない人でもインターネットの利用が可能となり、ウェブアクセシビリティの改善促進や情報格差の解消にも役立ちます。
映像情報提供の拡充(CATV等) (10か年計画) 【政策室情報化推進分野】	不特定多数の視聴者に対して映像情報を一斉に配信できるというテレビ放送の特性などを踏まえ、ケーブルテレビ等による議会中継や防災情報、地域情報など、映像による区政情報の提供を拡充します。
住民税電子申告システム 【管理会計室税務分野】	一つの窓口から複数の地方公共団体に対する住民税の電子申告を行うことが可能となります。今後、共同運営によるコスト低減や地方税電子化協議会の報告・検討の状況を踏まえながら、導入に向けての検討を進めていきます。

# 電子投票システム

【イメージ図】  
電子投票機システム



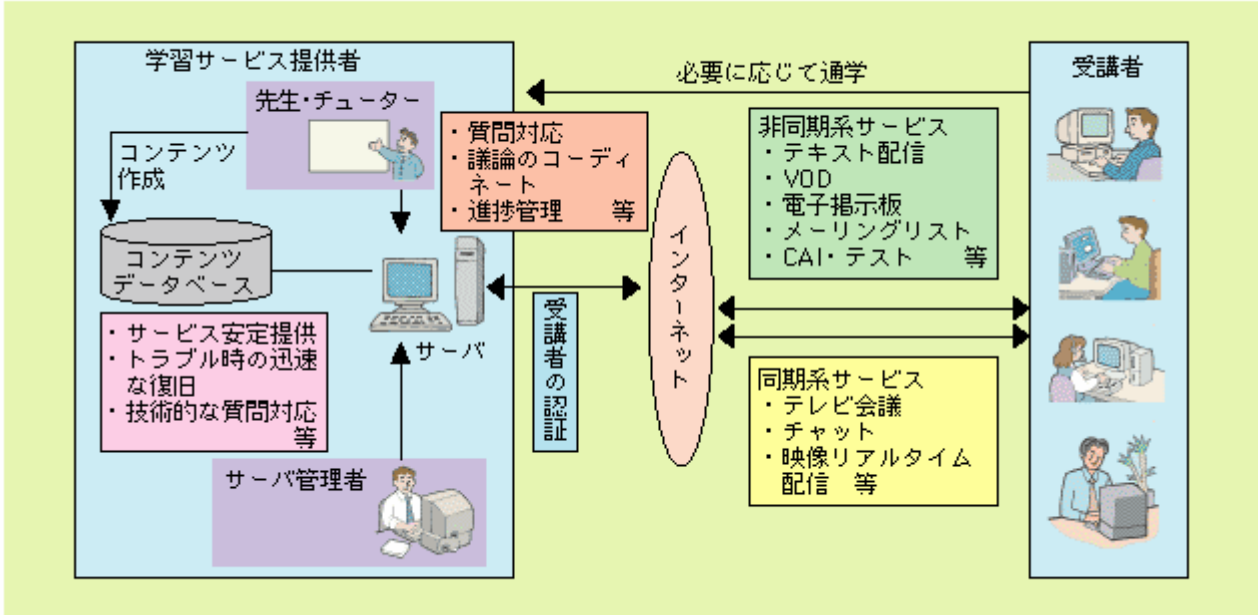
インターネット投票



出典：東京都

情報システム名・事業名	概要
電子投票システム 【選挙管理委員会事務局】	電子投票とは、タッチパネル等を用いて投票行為そのものを電子化することです。最終的には、インターネットを通じて自宅や、他の地域、海外等から投票できるシステムの実現なども含んでいますが、課題も多いため、区では、技術動向や法改正時期等を見据えながら、今後も導入に向けた検討を進めます。
統合型GISの構築・運用(庁内用) (10か年計画) 【政策室情報化推進分野：都市整備部ほか】 が主管分野	区民にとって身近な生活関連情報等を地図情報として区のホームページなどで提供するとともに、庁内で共用できる空間(地図)データ(例えば、道路、街区、建物など)を一元的に整備・管理し、各部署で活用することにより、事務の効率化と情報の共有化を図ります。

eラーニングシステム



出典：総務省

情報システム名・事業名	概要
eラーニングシステムの導入 【政策室情報化推進分野】	eラーニングシステムを使えば、職場でいつでも研修が受講できます。情報漏洩等の情報セキュリティ事故の発生を未然に防止するため、eラーニングシステムにより全職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施し、職員のセキュリティ意識の向上を図ります。
新公会計システム 【管理会計室経営分析・公会計改革分野ほか】	企業会計（複式簿記・発生主義会計）の考え方に基づき、複式簿記機能、財務諸表作成機能を持った新しい公会計システムを構築し、現行の財務会計システムとのデータ連携を行うとともに、ストック情報を作成するために財産管理システムを構築していきます。
レセプトオンライン化 【保健福祉部保険医療分野】	個人情報保護及び情報セキュリティに配慮しながら、特定健診・特定保健指導等へのレセプトデータの活用や医療保険事務の効率化を図ります。



中野区中央図書館

情報システム名・事業名	概要
図書館システムの拡充（再掲） <b>【教育委員会事務局生涯学習分野】</b>	図書館の所蔵資料にＩＣタグを装着し、自動貸出機を設置することにより、利用者本人のプライバシー保護とカウンター業務量の削減を図るとともに、蔵書点検のための休館日の短縮を図ります。
住民情報系システム全体最適化計画の策定と中央電算再構築 <b>【政策室情報化推進分野】</b>	住民情報系最適化計画及び中央電算システムの再構築計画を策定し、住民情報系システムの全体最適化の実現と中央電算システムのオープン化を図ります。
情報システム調達ガイドラインの策定・運用 <b>【政策室情報化推進分野】</b>	情報システムの調達にあたり、情報システムのライフサイクル全般にわたって全体最適を図っていくためのガイドラインを策定します。これにより、ＩＴ調達の標準化によるＩＴ投資の適正化を図ります。

（１０か年計画）とは、「新しい中野をつくる１０か年計画」です。

# 4 個別システムのスケジュール

単位：千円

(2009年度以降の各スケジュールは、現時点での予定となります。) 予算額は、2008年度に新規案件として予算計上されたもののみ掲載してあります。

分野	施策	事業	2008年度	2009年度	2010年度	2011～2017年度	2008年度予算額
区民生活の情報化	1. いつでも、どこでも、誰にでも便利な暮らし	図書館システムの拡充	図書館システムの検討・拡充		運用		
		電子申請が可能な手続の拡充	電子申請が可能な手続の拡大				
		マルチペイメントネットワーク	稼働(電子申請分)				
		デジタルデータ放送の活用	デジタル放送調査研究		構築	運用	
		ICカード活用システムの研究・検討	ICカード活用システムの研究・検討				
	2. いつでも、どこでも、誰にでも安全・安心な暮らし	防災行政無線のデジタル化	防災無線デジタル整備計画及び設計		構築	運用	18,123
		地図情報の提供(統合型GISの構築・運用)	検討		構築	運用	
校内LANの整備		構築				300,000	
地域社会の情報化	1. 地域コミュニティの活性化	地図情報の提供(統合型GISの構築・運用)【再掲】	検討		構築	運用	
		ボランティア・NPO等の情報提供	ボランティア・NPO等の情報提供				
	2. 地域産業の活性化	商圏分析システムの充実	商圏分析システム充実				500
行政の情報化	1. 質の高い情報サービスを提供する満足度の高い区役所	デジタルデータ放送の活用【再掲】	デジタル放送調査研究		構築	運用	
		映像情報提供の拡充(CATV等)			映像情報提供の拡充(CATV等)		
	2. 個人情報の保護が徹底された情報セキュリティの高い区役所	e-ラーニングシステムの導入	稼働(拡充)				
		地図情報の提供(統合型GISの構築・運用)【再掲】	検討		構築	運用	
	3. 情報システムの効率的・効果的活用と情報共有が進んでいる効率の良い区役所	新公会計システムの構築	検討	構築		稼働	6,200
		レセプトオンライン化の構築・運用(画像レセプト)	運用				19,361
		図書館システムの拡充【再掲】	図書館システムの検討・拡充		運用		
	4. IT投資をコントロールし、トータルコスト削減に努める区役所	中央電算再構築	構築		稼働		172,142
調達ガイドラインの策定・運用		研修	運用			41,780	

19中政情第2191号

## 中野区地域情報化推進計画

ユビキタス都市中野（u-city Nakano）  
実現へのステップ

平成20年（2008年）3月発行

164-8501 東京都中野区中野4-8-1  
中野区政策室情報化推進分野（情報計画担当）  
電話（03）3228-8299 ファクシミリ（03）3228-5646  
メールアドレス johokasuisin@city.tokyo-nakano.lg.jp  
ホームページ <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp>